

ウッドマイレージCO₂に着目した税制について

1 目的

- 地球温暖化対策としての森林の保全や林業の活性化に繋がる税制の検討
- CO₂の排出に着目した制度についての検討

2 検討経緯

新潟県税制調査会において検討（平成22年5月から平成23年6月）

3 検討結果

- 排出されるCO₂の算出方式の国際基準や木材のトレーサビリティが確立されていないなど、木材の輸送過程で排出されるCO₂に直接課税する方式には多くの課題。
- 既存税制のグリーン化の例の中では、不動産取得税の超過課税と軽減措置の政策ミックスを用いた方式が最もその趣旨を踏まえたものであり、政策誘導効果面においても優れている。
- 新たな税負担を生じる税制の導入に際しては、県民生活や地域経済に与える影響等、経済社会情勢を勘案しながら進めることが重要。